

[新規需要拡大をめざした切り花向けポインセチア生産技術の確立]

## 切り花向き品種の選抜

橋本智明

(江戸川分場)

---

【要 約】江戸川分場で遺伝資源として収集・評価・保存している 70 品種の中から、切り花向きと思われる 15 品種を供試し、切り花特性を把握したところ、いずれも切り花として有望である。

---

### 【目 的】

江戸川分場では、70 品種のポインセチアを遺伝資源として収集・評価・保存している。これらは鉢物用に育成されている品種である。そこで、切り花用にも活用できる特性を持つ品種を選抜し、切り花としての品質を明らかにする。

### 【方 法】

- 1) 供試品種：江戸川分場で遺伝資源として保存している 70 品種から、「フリーダムジングル」など 15 品種を供試。
- 2) 苗養成：自家増殖苗（挿し芽 6/8，鉢上げ 7/2，ピンチ 7/11）  
（オアシス培地，ミスト灌水：5分/30-60分/8:00-17:00，黒遮光ネット 1 枚被覆）
- 3) 5号鉢に江戸川分場標準用土 1 本植え。  
江戸川分場標準用土：赤土：ピートモス：腐葉土=5：3：2（容積比）利用  
基肥：マグアンプ K 5g/l 過リン酸石灰 3g/l 苦土石灰 0.2g/l
- 4) フラワーネット（20 cm×5 列）利用。中央空けの 4 列に鉢を配置（20 鉢/m<sup>2</sup>）。
- 5) 灌水は底面灌水。9～10 月は，週 1 回・液肥（5-10-5）1000 倍液施用。
- 6) 9 月以降，20 cm 以下の側枝を取り除く。

### 【成果の概要】

- 1) 技術開発の目安としている平均切り花長 50 cm 以上の品種は、「フリーダムジングル（赤色系），スパークル（白～桃色系），カルーセルピンク（桃色）」などである（表 1）。
- 2) 切り花に向いている形質である着色部分が小型な品種は、「レモンドロップ（黄色系），ホワイトジングル（赤色系），シトラス（黄色系），ジェスターレッド（赤色），フリーダムピンク（桃色）」などである（表 1）。
- 3) 鉢あたりの切り花本数は，3～4 本が「カルーセルピンク，レモンドロップ」，4～5 本が「シトラス，クリスマスキャロル（赤色），ジェスターレッド，カルーセルレッド（赤色），コルテスオレンジ（橙色）」など 10 品種，5 本以上が「フリーダムピンク，クリスマスタイム，フリーダムサーモン」である（図 1）。
- 4) 切り花長の割合は，切り花長 71-90 cm の品種は，「フリーダムジングル，スパークル，カルーセルピンク，コルテスオレンジ，カルーセルレッド」，切り花長 31-50 cm の小型品種は，「レモンドロップ，シトラス，フリーダムピンク」などである（図 2）。
- 5) まとめ：多くの品種で切り花用にも活用できる特性がある。
- 6) 今後の課題：各品種の市場評価，新しい仕立て法及び新品種の導入。

表1 供試品種の切り花特性

品 種 名	切花長	切花重	葉枚数	短径×長径	節間長
	cm	g	枚	mm	cm
①フリーダムジングル	73	43	19	191×214	3.8
②スパークル	69	36	20	161×189	3.5
③カルーセルピンク	68	53	25	129×135	2.7
④コルテスオレンジ	67	41	19	158×181	3.5
⑤カルーセルレッド	64	36	19	158×179	3.9
⑥メリークリスマス	61	47	22	152×166	2.8
⑦ジェスターレッド	55	36	19	125×146	2.9
⑧クリスマスタイム	58	30	20	141×167	2.9
⑨フリーダムサーモン	58	30	19	170×185	3.1
⑩クリスマスキャロル	54	35	17	166×186	3.2
⑪クリスマスシーズン	52	37	17	145×159	3.0
⑫ホワイトジングル	51	29	19	116×138	2.6
⑬フリーダムピンク	49	22	14	139×152	3.5
⑭シトラス	43	26	14	121×140	3.1
⑮レモンドロップ	41	39	19	111×132	2.2

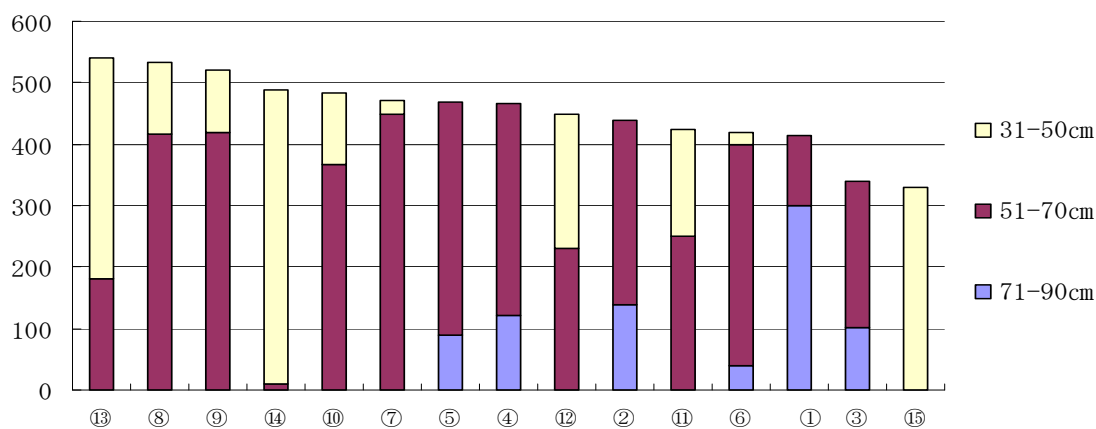


図1 供試品種の切り花本数 (100 鉢あたり 単位:本)

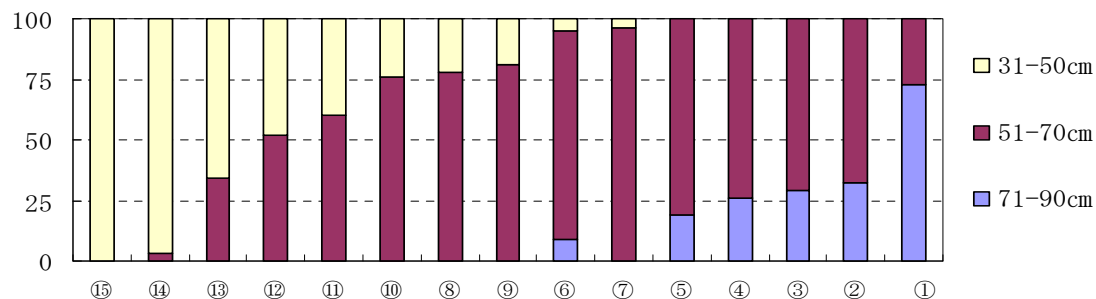


図2 供試品種の切り花長割合 (単位:%)

図1と2の①～⑮は表1の品種名を示す。